

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	新規事業所で、職員の経験の違いや考え方の違いなど難しい面があるが、いつも管理者が職員の間に入り調整するのではなく、職員同士の意見交換やコミュニケーションの機会の確保が望まれる。利用者に対する共通認識を持つ場として、非常勤職員も参加する職員会議を開催することが望まれる。	職員の会議を定期的実施をする。	月に一回、職員会議を行う。その上で、毎日のミーティングの実施を行い利用者様にサービスの提供を図って行きます。職員会議は、ご指摘があった翌月(3月)～実施を行っています。ミーティングについても朝に話し合えるように行っています。	3ヶ月
2	26	使用ソフトには本人や家族のホームでの暮らし方の意向や希望を書き込む欄がなく、日常関わっている現場職員の気づきやアイデアも十分に活かせていない。職員の共通認識のもと、利用者の楽しみや意向が反映された介護計画を作成されることを希望します。	介護計画の家族の希望・利用者の希望を記載するようにする。	施設介護計画書を入所後、暫定的に約1カ月作成をしてその後、半時ごとに作成をしています。介護計画の作成時期に家族・利用者の希望を入れるようにしていきます。	6ヶ月
3	36	研修を実施しているが、職員が各自でパソコン画面の使用を見てビデオ学習する形態なので、全職員に周知できたか不明である。研修の実施記録に参加者が判るような工夫を希望します。	参加者がわかるようにしていきます。	特養の研修委員会に管理者だけではなく、職員も4月より委員に入り、研修実施についての記録、周知徹底を図っていきます。	6ヶ月
4		利用者にとって外気浴や日光浴は大切な目標である。特別な外出の記録だけでなく、日常的な散歩、日光浴なども記録しておく、利用者別の外出頻度がわかり、ケアの統一になると考えられます。	外気浴・日光浴などは継続して行って行きますが、記録の記載も同時に行って行きます。	ご指摘があった翌月(3月)から記録の実施をしています。外気浴・日光浴などラインを通して家族には適宜報告をしていましたが、ケース記録が抜けていたので、周知徹底を図っていきます。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。